

第124回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2022年8月3日（水）18：30～19：45

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 13名

3 会議内容

<新規提案>

（1）ことくらちゃんと秘密の落としもの 協力参加型クイズゲーム

【概要】

・ゲーム内のキャラクター『ことくらちゃん』と一緒に、ことくらちゃんが落としてしまった大事なものをクイズ形式で探しに行くイベントを開催したい。

・対象は全年齢としているが、クイズの難しさは子どもでも解けるものを想定。謎解きよりも協力することをメインとしたい。イメージは脱出ゲーム。

『ことくらちゃん』は企画者が過去にことば蔵で作成した非公式キャラクターのこと

・大学院で、地域の教育的活動がより楽しく親しみやすくなるためのキャラクターの活用について研究しており、キャラクターを通してことば蔵に関するクイズに挑戦することで、ことば蔵により親しみを持ってもらいたい。

【意見】

・会場の各所にヒントをばらまいたり、参加者それぞれに違うヒントを入れた封筒を渡したり、協力して動かざるをえない仕掛けをいれるのはどうか？

10周年のことば蔵自慢の展示にヒントを隠すなどをやってみる。

・子どもは何歳くらいと考えているのか？

クイズの難易度にもよるが小学生以上を想定。

・これまで小学生を対象としたイベントを何度も開催してきたが、1～3年生の参加者が多い。その年代にとって座学は15分が限界。スライドに興味を引くアニメーションなどを入れるなど飽きさせない工夫が必要。

・事前予約制にしていることもあり、参加者は初対面がほとんど。友達同士で来るわけではないため、意見がなかなか出ない。

・小学生を対象にするなら、その年代が分かるルール説明が必要。

・親しみをもちやすくなる仕掛けは？

キャラクターを助けたいという気持ちを原動力にクイズに挑むことで、キャラクターについて
はことば蔵に感情的に近くなるような仕掛けを考えている

- ・参加景品はどんなものか

手作りのシールなどを考えている

- ・缶バッチの手作りキットを他のイベントで使ってみたら、子どもの反応が良かった。参考に
してほしい。

(2)と(3)は追手門学院大学のインターンシップ生の企画です。今回の会議でいただいた
意見を踏まえ、どちらかを9月に実施する予定です。

(2) 関西弁で百人一首

【概要】

- ・小学生を対象に百人一首により親しみを持ってもらえるよう、関西弁に現代語訳した百人一
首から元の詩を考えるイベントを開催したい。

- ・4択のクイズ形式にして、正解が多かった参加者にはプレゼントを渡す。

【意見】

- ・クイズだけでなく、百人一首が成立した背景などを解説する時間があってもいいと思う。

- ・恋の句や景色の句など分類わけして紹介するのも面白いと思う。

- ・関西弁の現代語訳は既に用意できているのか。誰が作るのか

これから考える予定。

- ・関西弁もいろいろあるので、大阪や京都など様々な地域の訳をまぜるのはどうか

- ・著作権が問題なければ、競技かるたを題材にした漫画の画像などをチラシに使うと、興味を
持ちやすくなるのではないか。

(3) 写真で一句

【概要】

- ・小学生から大人を対象に、写真から俳句を詠み、隣の人と共有、小さい冊子(折本)にまとめる
イベントを開催したい。

- ・簡単にルールを説明したうえで、風景の写真などから思ったことを句にしてもらおう。季語の説明
も入れる予定。その他、将来の自分に対しての句など、初心者が取り組みやすい題材を提示する。

【意見】

- ・なぜ俳句を題材にしたのか？

企画者の1人が伊丹出身で、学校でよく俳句を作ったことを覚えており、伊丹は俳句に力を入れ
ていると感じた。様々な写真から俳句を詠むイベントをすれば、より興味を持ってもらえるのでは
と考えた。

- ・短歌の方が文字数が多いので、作りやすいのではないか

- ・隣の人と作品を共有とあるが、みんなの前で発表しても楽しいと思う

- ・例えば小学生を対象とするのなら、俳句の作り方の説明をしっかりと行うため、小学校のことは科の先生に教え方についてリサーチしてはどうか。
- ・どんな写真を用意するのか？
伊丹や追手門学院大学の写真や、季節を感じる写真などの予定。

< イベント実施報告 >

(1) いたみ文芸ことそうし

- ・参加者は4人。文章を読み合い、感想を共有した。
- ・ことば蔵10周年企画のリレー小説の募集を開始している。興味あればぜひ参加してもらいたい。

(2) 薬剤師と考える 免疫力アップ食事講座

- ・参加者は22人。免疫力は日々の食事で高めることができることを知ってもらうために、腸内環境やミネラル、油など7つのテーマに沿って話した。
- ・講座中だけでなく講座後にも質問しに来てくださった参加者がおり、嬉しかった。

(3) みんなの寺子屋

- ・参加者は累計で90人。自分の好きなことや得意なことを先生となって参加者に伝えられる「みんなの寺子屋」。ことば蔵1階の交流フロア北、交流フロア南、多目的室2の3か所を教室とし、1時間目から3時間目までそれぞれ違う授業が行われ、1日で計9講座が開催された。
- ・内4講座は、子どもが先生を務めており、歴史や昆虫、漢字、折り紙など個性豊かな授業が繰り上げられた。

(4) 漫画を語ろう！

- ・参加者は4人。テーマは「偲びたい漫画」。作者が亡くなっている漫画について、その思い出を語り合った。後半は、長年休載中の漫画がそろそろ連載再開するのではないかという話題で、盛り上がった。
- ・次回は8月24日(水)18時30分～ テーマ「ホラー漫画」で開催。

(5) 夏の吃音講座「言語聴覚士と吃音」

- ・参加者はオンライン参加も合わせて17人。例年12月に開催している本講座を、ことば蔵の10周年に合わせて、はじめて夏に開催した。内容は言語聴覚士の先生から吃音の解説、当事者の体験談発表、グループディスカッションなど。
- ・今回は言語聴覚士の先生だけでなく、吃音を専門としている医師の先生に、オンラインで登壇いただき体験談をお話いただいた。

(6) 名曲セラピー「自分を好きになり自信をつける方法」

- ・参加者は3人。出会いの大切さや、捉え方の転換について、名曲の歌詞を通して伝えた。また、

効率的な勉強方法などのアドバイスを行った。

- ・ 話を聞くうちに、励まされている感じがして、気持ちが楽になったなどの嬉しい感想をいただいた。

4 次回の運営会議 2022年9月7日(水) 18:30~ ことば蔵1階 交流フロア